



平成30年9月3日

園長通信 第91号

「幸せな子どもを育てるために・・・」

園長 安達 譲

yuzuru@hijiri.ed.jp

今日から2学期

今日から2学期がスタートしました。この夏休みは猛暑や大雨、台風と保護者のご関係の方の中にも被災された方があるかと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

2学期はそれぞれの学年の子どもたちが園やクラスでの生活にも慣れ、先生や友達との信頼関係をベースに様々な活動が充実する時期です。保育者は子どもひとりひとりの理解を通して、その行動を予測し、保育の計画を立てていきますが、予め予想した通りにはいかず、子どもの主体性を尊重しながら、実りの多い2学期になることを願います。

夏休み中は私たち教職員も様々な研修や研究会に参加して多くのことを学んだり、又、ひじりの取組みを先生が口頭やポスターで発表をしたりと充実した夏でした。

奈良で開催された近畿地区の研究会では鍋野温香先生と中島篤史先生がプロジェクト保育について口頭発表を行い、北海道地区の研究大会ではかえで先生と南彩先生がリーダーシップについて講師として講演を行い、埼玉で開催された幼児教育実践学会では藤原晴子先生と米田亜里沙先生がリーダーシップについての口頭発表を行い、湯浅優典先生が植物遊びについてのポスター発表を行いました。子どもを主体とした保育の実践や子どもの主体性の育ちを支えるためにひじりのミドルリーダーがどのような取組みをしているかを全国の幼児教育関係の方にお伝えできる機会をたくさん頂いたこと、聴きたいと言ってくださる方がたくさんいらっしゃることをありがたく思います。

また、この夏にひじりひがし幼稚園の下江聡子先生がこれまでの実績を評価され小野寺先生に続いて、全国の優秀教員として（今年は全国で6人）表彰されましたことをご報告いたします。おめでとうございます。

幸せな子どもを育てるために

奈良での近畿地区の研究大会での記念講演が脳科学者の中野信子さんでした。話の中で印象に残っているのはネズミとストレス耐性の話です。どんな話かというと、よく子どもを舐める母ネズミの子どもはストレス耐性が高く、あまり舐めない母ネズミの子はストレス耐性が弱いそうです。でもそれは元々遺伝的にストレス耐性が高いからなのか、それとも環境なのかを確かめるために母と子を入れ替えます。するとよく舐められると子のストレス耐性が高くなるのでストレス耐性は育ての母に似るということが分かりました。つまり母ネズミからたくさん毛づくろいをしてもらったり舐められたりした子ネズミはストレス耐性が高く、不安行動が減るらしいのです。そして、このことは人間にも当てはまるのではないかと・・・。両親、教師、周

園の人間の生き方が子どもに影響するということです。そして話の結びに幸福学を研究されている前野隆司さんのいう「幸せな子どもを育てる4つの因子」を示されました。

「幸せな子どもを育てる4つの因子」

「やってみよう」因子 自己実現、自分が社会に役立っている感がある

「ありがとう」因子 愛されている実感、人に感謝し、親切にしたいという思い

「なんとかなる」因子 楽観的、気持ちの切り替えができる

「あなたらしく」因子 他者と自分を比べない、自分自身のことがわかり、自分を持っている

家庭でそして園で子どもの一番身近にいる大人として、あきらめや愚痴ではなく、このような言葉を心がけたいものだなあと感じます。

募金のお願い

7月の豪雨では広島や岡山の被害がテレビ等でしばしば報道されていましたが、実は四国の愛媛県宇和島市や大洲市の方もひどい被害があったようです。昨年度までにじいろ保育園の園長で、現在松山東雲女子大学の准教授をされている出原大先生からは保育所等の被害がひどく休園になっている園もあり、それらの園を少しでも助けてあげてほしいと連絡がありました。もちろん国や自治体でも動いてもらっているのですが、園の絵本やおもちゃなどが泥につかってしまっている状況です。少しでも子どもたちのために何かを送ってあげたいと考え、不要になった絵本ならびに募金をお願い出来たらと思います。

職員室前に募金箱を設置し、出原先生を通じて被害のあった施設にお届けしたいと思っておりますのでどうぞご協力をお願いいたします。



宇和島の保育園（西日本新聞より）

教育充実費改定のお知らせ

園ではこの10年間で園に携わる教職員の数（副担任等）や平均勤続年数も延び、また、様々な研修に参加したり、講師の方を招いての園内研修を実施したりと保育の質の向上を実感しています。しかし、その一方、質を高めていくためにはそのための経費がどうしても必要となっておりまして。そこで、大変恐縮ですが、来年度より1号、2号の教育充実費を1,000円下記の通り保育料を改定させて頂きたいと思っております。事情をご賢察の上、ご理解頂きますようお願いいたします。

	現行	1号	(2号)	改訂後	1号	(2号)
3歳児		9,500	(10,000)		10,500	(11,000)
4歳児		7,500	(8,000)		8,500	(9,000)
5歳児		6,500	(7,000)		7,500	(8,000)